

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）5

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43777

諸
御

五

一

二

三

四

日本心丸三片後

訓

命

五

一

四

十

十

十

十

十

十

譜
訓
(特
々
VN)



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

299

電信写

大外務省
次官 典房
官 審長 長
儀 審文 会 營 給

總番号 (TA) 80604
69年 9月 13日 00時 50分
69年 9月 13日 14時 04分

米 国
本 省

主管
發着 米 國

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 總領事 代理

オキナワ返かん交渉 (詰訓)

第2867号 特秘

アイチ大臣より

往電第2857号に関し、

1. 本日の國務長官との会談を通じ (イ) 朝鮮台湾への出撃の問題については双方の見解は概ね一ちし。 (ロ) ヴィエトナムに関してはこれを共同声明に含めるや否や等表現につきなお調整を要するも実質的には歩み寄っており。 (ハ) 核兵器については國務長官は他の諸点が解決した上大統領とこの問題のみにつき裁断をあおぐこととし度き意を示した。

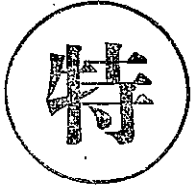
2. 今後総理訪米までの2ヶ月間に總ての点につき解決をみるためには今回の滞米中に前記 (イ) (ロ) については最終的に合意したる上。 以後 (ハ) の解決を促進することが望ましく。 更に返かんに伴う財政問題等に関し若干のうきよくせつも予想されることでもあり。 米側の事情からせつかく今日まで時間をかけて作り上げて来た (イ) (ロ) に関する共同声明及び一方的發言案が更に手直しを要す

総人電厚計

参調折企
参領旅移

ア	参地中東
長	北 東 西
米 國	参北北保
中 南 部	参一 二
歐 長	参 國 東 洋 西 亞

近 ア 長 経	参 普 近 ア
	次 総 經 國 万
長 經 協 長 長	参 質 統 國
	参 政 技 二 國 一 選
	参 条 協 規
長 國	参 政 經 科
長 信 長 長	軍 社 專
	参 道 内 外
	一 二



電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

ることになつては総理訪米までの時間的余ゆりもなくなるおそれあり。この際（イ）（ロ）を固め置くことが必要な時期に到達したと判断される。

3. ついては朝鮮半島（往電第2861号）台湾（往電第2862号）ヴァイエトナム（往電第2868号）につき大至急御せん議願いたく。往電第2857号3.（3）カッ内のおり米側より更に提案あるべきも。わが方の立場としては右にて取進め差支えなきや総理の御指示を得たい。

(3)

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極 密

1/2

官 務 外 務 大 臣 官 房
典 房
長 官 官 署 審 長 長
官 官 署 文 書 長 官 官 署

電 信 写

電 信 号 (I H) 40622
 69 年 9 月 13 日 00 時 10 分 米 国 主 管
 69 年 9 月 13 日 13 時 13 分 本 省 発 着 米 國 張

総 人 電 歴 計
 国 資 長 領 移 長
 参 調 析 企
 参 領 旅 移

外 務 大 臣 殿 下 田 (大 使) 臨 時 代 理 大 使 総 領 事 代 理

沖 繩 返 還 交 渉 (請 訓)

オ 2868 号 (特 秘) ✓

往 電 オ 2867 号 の 3. に 関 し
 ヴ ьет ナム に 関 し 丁 ミ ュ = ケ 関 係 部
 分 オ 2 文 と 削 除 し、 以 下 を 加 え る

THE PRIME MINISTER AND THE PRESIDENT EXPRESSED
 THE HOPE THAT THE WAR IN VIETNAM WOULD BE CONCLUDED
 BEFORE THE RETURN OF THE ADMINISTRATIVE RIGHTS OVER
 OKINAWA AS MENTIONED IN 5 . IN THIS CONNECTIONS.
 THEY NOTED THAT, SINCE THESE ARE FULLY ADEQUATE
 PROVISIONS FOR CONSULTATIONS BETWEEN THE TWO
 GOVERNMENTS IN THE IMPLICATIONS OF A PROLONGATION OF
 THE WAR, THE REVERSION OF OKINAWA CONTEMPLATED IN
 5 SHOULD NOT AFFECT UNITED STATES MILITARY ACTIVI-
 TIES RELATING TO THE CONFLICT IN VIETNAM.

参 地 中 東
 長 北 東 西
 参 北 批 保
 中 南 審 察
 参 西 東 洋
 西 東
 参 審 近 丁
 次 総 経 国 万
 参 質 統 国
 参 政 技 二
 国 一 理
 参 案 協 規
 参 政 経 科
 専 社 専
 参 道 内 外
 一 二

(3)

승리
의

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

電信課長
特

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 平	※ 総第 14283 号
特	※ 第 1820 号	※ 昭和 44.9.14 02.16 時 分 発
	大至急 至急・普通・LTF	※ 発電係 (2)

(※印欄内は電信課記入)

佐下大臣御承知

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 米局長 参事官 北米1長	主管局部課(室)名 米局長 起案 昭和44年9月3日 起案者 米参 電話番号
---	--------------------------	---

協議先
米局長
参事官
米参

大使 臨時代理大使
在 米下田 総領事 代理 大臣 発

電 在 大使 臨時代理大使
転 報 総領事 代理 大臣 発

件名
沖繩返還交渉 (訓令)

字 済

14 003

175

(昭和四二・七一 改正)

往電文, 842号 別電

A. 英文

The Prime Minister and the President expressed the hope that the war in Vietnam would be concluded before the return of the administrative rights over Okinawa to Japan.

In this connection, they agreed that, should hostilities in Vietnam not have been concluded by the time reversion of Okinawa is scheduled to take place, the two Governments would fully consult with each other so that the U.S. efforts for the realization of peace in Vietnam would not be affected by reversion.

B. 和文.

総理大臣と大統領は、沖縄の施政権
が日本に返還される前にウイトナム戦争が
終了することを希望した。これに関連して、
総理大臣と大統領は、もし不幸にして、
沖縄返還予定時に到るもなおウイエ
トナムにおける敵対行動が終息し
た場合には、ウイエトナム^{における} ^の ^{実現の} 和平
^{ための} ~~日本~~ 米国の努力が返還により影響
を受けることか、存しように西国政府が十分
協議することを合意した。

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

電信課長
特
特

機密表示 (極秘・秘の朱印) 特科	符号表示 暗 略 平 暗	※ 総第 44282 号
	※ 第 1844 号	※ 昭和 44 年 9 月 14 日 02.00
	大至急 至急・普通・LTF 大至急	※ 発電係 米

(※印欄内は電信課記入)

大臣 政務次官 事務次官 新井 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 米局長 参事官 北主(長)官	主管局部課(室)名 米局長 起案 昭和44年9月12日 起案者 米参 電話番号
--	----------------------------	--

佐高経現係承知

協議先
参事官長
参事官
参事官

大使 臨時代理大使
在米 下田 総領事 代理
あて佐高外務大臣 発
臨時現係

電報 在 大使 臨時代理大使
総領事 代理 あて

件名
沖繩返還交渉 (新令) (略)

14 001

79

(昭和四二・七・一 改正)

宛先、~~外務省~~ 閣下。
愛知大臣、中場次官、
13日發報時、閣下、總理、
孫、森、木、佐、之、等、省、令、議、の
手、邊、と、新、報、告、也、子、に、森、木、大臣、の
場、場、力、也、の、と、之、の、骨、頭、経、理、の
場、場、力、也、の、と、之、の、電、報、申、上、付、た
(信、符、所、長、大、河、子、等、同、道)